

**平成22年度
第 4 回**

武蔵村山市公民館運営審議会会議資料

**平成23年3月22日(火)
武蔵村山市公民館運営審議会**

報告事項1 第3回公民館運営審議会会議録

このことについて、下記のとおり報告します。

記

第3回公民館運営審議会会議録（別紙）

※この会議録は、武蔵村山市付属機関等の会議及び会議録の公開に関する指針に基づき公開します。

報告事項 2 平成 22 年度公民館講座進捗状況

このことについて、次のとおり報告します。

(1) 平成 22 年度公民館事業一覧

区分	講座名 ※ ○数字は連続講座の回数	定員	申込者数	受入数	参加者 (最大数)
市民講座	ヨガ&ピラティス③ ※ 第2・3回は震災の影響により中止	20名	33名 (男1・女32)	33名	28名
	市民企画講座 武蔵村山の郷土料理 めんくい教室④	20名	24名 (男17・女7)	24名	20名
家庭教育講座	夏休み 親子で木工作	12組	17組 (大17・子19)	17組	16組
	家族で食べる クリスマスディナー	12組	32組 (大35・子43)	12組	12組
	誕生学入門 いのちのフシギ	20名	11名 (大9・子2)	11名	10名
シルバー教室	健康ウォーキング④	50名	31名 (男6・女25)	31名	30名
	パソコン入門講座②	15名	10名 (男5・女5)	10名	10名
リーダー研修会	武蔵村山市 リーダー研修会⑥	20人	17人 (男13・女4)	17人	17人

(2) 市民講座「ヨガ&ピラティス」実施報告

- 1 目 的 自分の身体の状態にあわせて、無理なく身体を動かし、心身のストレスを癒し、健康な身体をつくるヨガやピラティスの講習会を行うことで、心身の健康への関心を高めると同時に、講座を通して市民の交流、地域社会への参加を促進し、連携意識の強化を図る。
- 2 期 間 3月8・15・22日(火) 午後7時から9時まで
※ 震災の影響により、第2・3回は中止とした。
- 3 場 所 さくらホール(市民会館)展示室
- 4 講 師 千葉 和子 氏(フィットネスインストラクター)
- 5 対 象 市内在住・在勤・在学のかた
- 6 定 員 20名(往復はがきによる受付、申込多数の場合は抽選。)
- 7 参加者 28人 男性1人・女性27人
(受入れ数 33人 男性1人・女性32人)
- 8 一時保育 無
- 9 参加費 無料

10 内容・評価

定員は20名であったが、定員を上回る33名の申込みがあり、講師と調整の上、全員受け入れることとした。

2時間の講座のうち、前半1時間はピラティス、後半1時間はヨガといった時間配分でレッスンを行った。ヨガは精神的なリラクセスに重点を置いているのに対し、ピラティスはインナーマッスルを鍛え、身体づくりに重点を置くといった違いがあり、呼吸法もヨガが腹式呼吸、ピラティスは胸式呼吸で行う。

それぞれに特長のあるヨガとピラティスを同時に習得することで、バランスの良い健康なからだづくりができるプログラムとなっている。

仕事の後に会場に駆け付け、参加する受講生もいたようで、何名か遅れてくる方や仕事の都合でどうしても欠席という方もいたようだが、皆まじめに参加する様子からは、改めて市民の健康への関心の高さが感じられた。

(3) 市民企画講座「めんくい教室」実施報告

- 1 目 的 武蔵村山市の郷土料理である「村山かてうどん」の文化を次世代へ継承していくことを目的とし、講座への参加を通じて市民の交流、地域社会への参加を促進し、連携意識の強化を図る。
- 2 期 間 2月5・19・26日、3月5日（土）午後1時半から4時まで
- 3 場 所 さくらホール（市民会館）実習室
- 4 講 師 中平 義勝 氏 他5名（村山うどんの会認定講師）
- 5 対 象 市内在住・在勤・在学のかた
- 6 定 員 20名（往復はがきによる受付、申込多数の場合は抽選。）
- 7 参 加 者 20人 男性13人・女性7人
（受入れ数 24人 男性17人・女性7人）
- 8 一時保育 無
- 9 参 加 費 無料（ただし、材料費として1回あたり1,000円）。

10 内容・評価

定員数を上回る24名の方の申し込みがあったため、講師陣と相談の上、全員受け入れることとした。講座の内容は、毎回地粉を使って村山うどんを打つというシンプルなプログラムであったが、回を重ねるごとに受講生の習熟度が上がっていきのがよくわかり、受講生の満足度も高かったようである。

講座最終回には全4回皆勤した受講生に対し、修了証の授与を行ったが、受講生20人のうち14名が対象であり、みな毎週楽しみに参加していたようである。

講師を務めた市民団体と受講生が協力して講座を作り上げることができたのは、市民企画講座の第1弾としての役割を果たしたといえる。

(4) 家庭教育講座「誕生学入門 いのちのフシギ」実施報告

- 1 目 的 誕生学は、「生まれてきたことが嬉しくなると、未来が楽しくなる」をコンセプトに、子供から大人まで全世代に、妊娠・出産のしくみを通して、いのちの誕生と生まれる力の素晴らしさを伝える生涯学習プログラムである。生まれてきたこと、産んでゆくことを肯定的に捉え、自己肯定感を高めていけるようなアプローチをとる誕生学を学ぶことを通して、親としての理解と知識を深める。
- 2 期 間 3月6日(日)午後2時から4時まで
- 3 場 所 さくらホール(市民会館)集会室
- 4 講 師 青木千景氏(日本誕生学協会認定バースコーディネーター)
- 5 対 象 市内在住・在勤・在学のかた
- 6 定 員 20名(電話による受付、先着順。)
- 7 参 加 者 10人 大人8人・子供2人
(受入れ数 11人 大人9人・子供2人)
- 8 一時保育 無
- 9 参 加 費 無料
- 10 内容・評価
11名の申し込みだったため、講師と相談し、懇談会・サロン風の雰囲気を実施する形をとった。講演、DVD上映の後、受講生の感想等をうかがいながら、講師が受講生に語りかけるような、コミュニケーションをとりながらの講座となった。妊娠・出産の仕組みを通じて、命をつなぐことの大切さ、人間ひとりひとりの自尊感情を再認識させるプログラムは、小さなお子さんを持つ参加者にとって深く感銘を受ける内容で、受講中に涙ぐむ方がいらっしゃるほどだった。また、出産のシーンを紹介するDVD視聴では、実際に赤ちゃんが旋回しながら生まれてくる映像を見て、受講生は赤ちゃんの力強さに驚いていたようである。アンケートでは、受講生全員が大満足と回答するなど、満足度は大変高く、親子で参加することのできる家庭教育講座をまた実施してほしいとの要望が寄せられた。

(5) シルバー教室「パソコン入門講座」実施報告

- 1 目 的 情報化が進む現代において、普段から家庭でも使われているパソコンの操作技術を習得することを目的とする。特に市民より要望のあったこれまでパソコンを全く操作したことのない方を対象とした初心者向けの講座を実施する。
また、本講座への参加を通じて、受講生間の交流を図り、高齢者が楽しく学習する中で、自らの生活に生きがいを見出せるよう、学習の機会を提供し、高齢者の社会参加への推進を図る。
- 2 期 間 3月2・3日(火・水)午後2時から4時半まで
- 3 場 所 中部地区会館(市役所4階) 401大集会室
- 4 講 師 藤野幸子氏、加藤倫子氏 他3名(立川市生涯学習市民リーダー)
- 5 対 象 市内在住・在勤・在学の60歳以上のかた
- 6 定 員 15名(電話による受付、先着順。)
- 7 参 加 者 10人 男性5人・女性5人
(受入れ数 10人 男性5人・女性5人)
- 8 一時保育 無
- 9 参 加 費 無料

10 内容・評価

申込は10名と定員を下回ったものの、全2回の講座は1人の欠席者もなく、皆熱心に講座を受講する様子が見られた。藤野・加藤両氏のほかに3名のボランティア講師も加わり、合計5名の講師で講座を進めることができ、受講生はきめ細かい指導を受けることができた。特に、各自のパソコンを持ち込んで参加していただく形をとったため、パソコンのバージョン等に違いがあり指導が難しいのではないかとの懸念があったが、5名の講師の指導によりその心配はなかった。

既存のパソコン関連の講座は、難易度や回数、参加費の問題などがあり、気軽に受講することのできる初心者向けの講座の需要は想像以上に高いようである。受講生からは今回のような初心者向けの講座の要望が寄せられた。

議題 1 平成 23 年度 公民館講座について

このことについて、次のとおり意見を求める。

資料 1 平成 23 年度 公民館講座（案）について

議題2 その他

平成 2 2 年度 武蔵村山市公民館運営審議会の記録

	開 催 日	時 間	場 所
1	平成 2 2 年 5 月 1 1 日 (火)	午後 2 時	市役所 3 階 301 会議室
2	平成 2 2 年 1 0 月 1 日 (金)	午前 1 0 時	中部地区会館 407 会議室
3	平成 2 3 年 1 月 3 1 日 (月)	午前 1 0 時	さくらホール 集会室
4	平成 2 3 年 3 月 2 2 日 (火)	午前 1 0 時	市役所 3 階 301 会議室